

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

- 日立マイクロコンピュータ技術情報 -

〒 100-0004
 東京都千代田区大手町2丁目6番2号
 (日本ビル)
 TEL (03)-5201-5191
 株式会社 日立製作所 半導体グループ

題目	DMAC DDTモードドキュメント追加訂正		発行番号 TN-SH7-200A	
			分類 1. 仕様変更 ②. ドキュメント訂正追加等 3. 使用上の注意事項	
適用製品	HD6417750BP200, HD6417750F167, HD6417750VF128, HD6417750BP200M, HD6417750F167I	対象ロット等 全ロット	関連資料 SH7750ハードウェアマニュアル	有効期限 永年
<p>1.DMACをDDTモードで使用する場合の注意事項 内蔵DMACのDDTモード時のDTRフォーマットについて、SH7750ハードウェアマニュアル(第3版)に記載されている内容に下記のようにDTRフォーマットのSZの条件を追記しますので、お知らせ致します。DDTモード時、データベースを使用するハンドシェイクプロトコルの場合には注意してご使用下さい。 該当箇所を下線部で示します。</p> <p>1-1 14.5.1動作説明 (3)データベースを使用するハンドシェイクプロトコル(チャンネル0のみ有効) このモードは、チャンネル0のみに対して有効なモードです。 DMACのチャンネル0の制御レジスタに初期設定をした後、DTRフォーマットのID=00、MD=00、<u>SZ≠101、110</u>に設定してDTRフォーマットをドライブすることにより、DDTがDMACにデータ転送要求をアサートすることができます。</p> <p>1-2 14.5.2 DDTモードにおける端子説明 (1)データ転送要求フォーマット ビット63～61:トランスミットサイズ(SZ2～SZ0) <u>-101:設定禁止</u> 【注】に以下の内容追加 <u>6. DTRフォーマット転送時、DTR.ID=00、DTR.MD=00、DTR.SZ≠101、110に設定してください。</u> <u>DTR.ID=00、DTR.MD=00、SZ=101、110に設定した場合、動作保証はできません。</u></p> <p>1-3 14.5.4 DDT使用上の注意 (3)データベースを使用するハンドシェイクプロトコル(チャンネル0のみ有効) (a)データベースを使用するハンドシェイクプロトコルはチャンネル0のみで実行可能です。 (DTR.ID=00、DTR.MD=00、<u>DTR.SZ≠101、110</u>に設定してください。<u>DTR.ID=00、DTR.MD=00、SZ=101、110に設定した場合、動作保証はできません。</u>) (b)チャンネル0に対するデータベースを使用するハンドシェイクプロトコル実行中に、チャンネル1～3へのリクエストが入力され、そのDMA転送が実行された後に、データベースを使用するハンドシェイクプロトコルでDTR.ID=00、DTR.MD=00、<u>DTR.SZ≠101、110</u>が入力された場合にはチャンネル0への転送要求がアサートされます。 (7)DTRフォーマット (a)DDTでは、DTR.ID、DTR.MD、DTR.SZを以下のように処理します。 DTR.ID=00のとき ・MD=00、SZ≠101、110:データベースを使用するハンドシェイクプロトコル</p>				